



さかた よしお
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 防災拠点周辺の路面整備を要望

A. 県に働きかけをしている

強い要望を受け、お尋ねする。令和3年の事業開始より豊山町は、青山地区に整備される基幹的広域防災拠点について、住民説明会を繰り返して実施してきた。事業内容・施設整備規模に異を唱える声はなく、青山地区として、ご理解がなされたと解される。

その後は徐行で交差点を左折する方向で目的方面へ離脱する」という方式である。

式に「県に善処を申し入れすべきである。その責務がある。行政の最高責任者として、いかなる見解か。伺う。

然し乍ら、施設周辺の交差点を含む公道整備方法論になると話は一変する。現在の計画にあつては、青山八剱神社の北交差点(通称点滅信号)は北行・小牧方面/西行・41号方面への出入りが、地域住民には非常に不便な形状で計画されている。日々生活道路への侵入車両を制限する為、地域住民の行動も日々著しく阻害され永代我慢を強いられる。と。先般、青山地区要職者・有志方々で結成された「上青山地区防災拠点連絡協議会」より、ラウンドアバウト交差点の設置を求める「要望書」が関係各所に提出された。この交差点手法は「交差点侵入まぎに停止し、

また、現計画案においては、交通弱者に対する安全対策の諸問題を含んでおり平面街路整備の抜本的見直しを本町及び県にお願いしたい。との事。もとより、平面街路は本町と施設整備の両輪であるので、本町のみの意向を前面に打ち出すのは困難な部分がある。が、地元負担が「大」である以上、本町としても言すべきは述べ、お願いすべきは相応申し入れをなすべきである。と。

協議会からの提案にあるように、ラウンドアバウト敷設に関連して現在運行している豊山タウンバスの他に、近隣自治体のコミュニティバスや名鉄などの路線バスの、乗り継ぎ施設を検討/併設してみてはどうか。お考えを伺う。

この後伺う。

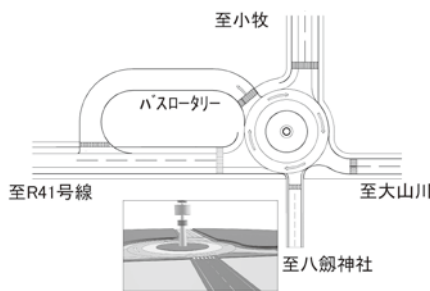
方々の主張は、施設周辺の公道整備に問題があると言っておられる。地域・地元の皆様が「こうした線形にして欲しい」と具体的な対案を持ってまで要望しておられるのに、「検討する/受け入れ難い/ダメだ」と言う合理的な根拠はなにか。本来、住民の難渋に対しては町長自らが先頭に立ち、豊山町として「正

産業建設部長
町としてラウンドアバウト交差点に反対している事実はいけません。地域有志の団体から要望書を受取りました。地元の声を受け止め、計画を再度検討するよう、県に対して働きかけをしております。

を極めつつ、

坂田は平面街路整備は永代の整備であると捉えている。住民本位の立場で、緊張感を持って、施設整備の進捗状況を見守りたい。

今後注視・見守りたい。



業者へ乗り入れていただけるよう、働きかけをする事が優先であると考えております。

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。